

同志社大学 学友会関係年表

(未定稿)

作成 「同志社大学学友会」資料編纂委員会

「同志社大学学友会」資料編纂委員会は、学友会解散後に学友会及び学生運動関係資料を将来の総括・研究に向けて整理し保存することを目的として有志で発足致しました。解散に際しては新入生向けの冊子「同志社の葉」(1957~2004)の資料集を発行することができましたが、60年代頃から現在までの運動資料がまだ多く未整理なまま残されております。これについては、運動史の理解の上での意識的な整理付けが必要であり、地道な確認作業が要求されるところです。この年表は、そのような資料編纂作業の手控えとして作り始めたもので未だ完成にはほど遠いものです。事実誤認や重要事項の脱落等お気づきの点がありましたら、関係各位の御指摘を賜りたいと思います。今後の資料編纂委員会の活動に対して、御理解と御協力をよろしく御願ひ申し上げます。

(「同志社大学学友会」資料編纂委員会代表 水野裕之)

学友会関係年表

作成年月：2006年 1月

作成者：「同志社大学学友会」資料編集委員会

連絡先：京都市上京区上立売新町西入 同志社大学学生会館1F

学生支援課分室気付 水野裕之

TEL 075-251-4446 FAX 075-251-4440

年表事項の主な出典

- ★「全学連」大野明男（講談社）
- ★「新左翼20年史」高沢皓司他（新泉社）
- ★「夢は世界を翔けめぐる—中島鎮夫未完の年譜」
- ★「わが青春の新聞局—同志社学生新聞の50年」
- ★「CD版 同志社学生新聞 1946～1994」
- ★「同志社年表」同志社大学社史資料編集所
- ★「学生部年報」同志社大学学生部
- ★「昭和・平成 現代史年表」（小学館）

	全国学生運動・労働運動、政治社会情勢	同志社大学	人物(ゴソウ…委員長)
1946	5月 戦後初のメーデー 11月 日本国憲法公布 11/3	4月 学内に共産党細胞、共産青年同盟が組織化 9月 同志社学生新聞創刊(月刊)	田畑忍(学長)
1947	2月 GHQ 2.1ゼネスト中止命令	5月 田畑学長辞任(後任は総長の兼任) 5月～「新学友会設立」に関する学生大会開催 新学友会成立(6月)	湯浅八郎(総長) 坂本裕治
1948	●全国の大学で授業料値上げ反対運動 6月 6.26学生ゼネスト 9月 全日本学生自治会連合(全学連)結成大会 11月 極東国際軍事裁判 判決 東条英機ら7名絞首刑	4月 新制大学発足(神・文・法・経済4学部)	川本
1949	7月～ 下山事件 7/6 三鷹事件 7/15 松川事件 8/17 9月 教員にレッドパージ始まる 10月 中華人民共和国成立 10/1	4月 商・工学部増設 5月 学生自治に関する覚書発表(湯浅学長・学友会中央委員長連名) 8月 大学当局、学内政治運動を禁止「学内政治運動に関する方針」	石田健造
1950	1月 日本共産党内で所感派と国際派の対立始まる 6月 日共中央委員24名公職追放 6/6 6月 朝鮮戦争勃発 6/25 8月 全学連反レッドパージ宣言、各大学で反レッドパージスト	5月 大学会計乱脈問題で学生大会開催(肅学運動) 7月 「同志社平和に生きる会」発足 10月 学生会館運営委員会開催(第1回)	大塚節治(学長) 田中
1951	2月 日本共産党四全協 武装闘争方針決定 山村工作隊を組織 9月 フランス講和会議 条約調印 日米安全保障条約調印 9/8	9月 学生会館問題発生(業者立退きで紛争) 11月 民主青年団同志社班組織化	前川秀博 佐藤良和
1952	2月 東大ボボロ事件 2/20 5月～ 血のメーデー事件 5/1 吹田事件 6/24 7月 破壊活動防止法公布 7/21 総評・各大学でスト	5月 全学学生大会 全学連加盟を決議 6月 破防法反対で全学スト(6.17闘争で学生5人逮捕) 6月 全学連 中学礼拝堂で総会を強行 6/26	田畑忍(学長)
1953	3月 スターリン死去 3/5 6月 内灘米軍試射場で反対派農民座り込み 7月 朝鮮休戦協定調印 7/27 11月 京都 学園復興闘争でデモ隊が警官隊と衝突(荒神橋事件)	1月 大学生生活協同組合結成	難波晃
1954	3月 ビキニ米水爆実験で第5福竜丸被爆 3/1 6月 自衛隊(陸・海・空)発足 6/9	3月 田畑学長辞表提出 6月 評議会、大学長選挙の大要決議(学生・職員に投票権認める) (54～57年)学友会は体育会系が主導権	大下角一(学長)

(1)

1955	7月 日本共産党六全協 「極左冒険主義」を清算 8月 原水爆禁止世界大会(第1回)広島大会開催 8/6 9月 砂川強制測量 労働者・学生、警官隊と衝突 9/13	10月 学生健康保険組合設立	増田誓治 (全学連副委員長) 中村孟
1956	2月 フルシチョフ、スターリン批判演説(ソ連共産党20回大会) 4月 全学連8回中央委、政治闘争路線を打ち出す 4/4 10月～ ハンガリー動乱 ソ連軍事介入、ナジ政権転覆(11/4)	4月 学生新聞休刊 「同志社学園新聞」創刊	橋爪幸臣
1957	1月 日本トロツキスト連盟結成 7月 砂川測量で学生・労働者基地内突入 7/8 12月 日本革命的共産主義者同盟結成	(春) 日本共産党同志社大学学生細胞再建 他方、反戦学生同盟同志社支部結成 その後二つは合流 6月 学友会本部、体育会系から反戦学同主導へと奪還	佐藤浩一(細胞キャップ) 畑中清博
1958	5月 社会主義学生同盟結成 6月 共産党中央と全学連衝突(6.1事件) 11月 警職法阻止全国ゼネスト 労・学1万人が国会包囲 11/5 12月 共産主義者同盟(ブント)結成 12/10	(秋) 警職法(警察官職務執行法)反対闘争	仲尾宏 松浦逸郎
1959	1月 キューバ革命 3月 安保改定阻止国民会議結成 4月 全学連、安保条約改定阻止・岸内閣打倒統一行動(第1次) 6月 全学連14回大会 ブント主導権(委員長 唐牛健太郎) 6/5 11月 安保阻止第8次統一行動 国会請願デモ構内へ突入 11/27	10月 全学連中執(唐牛・島成郎・生田浩二ら)、同志社細胞と接触 11月 全学部細胞で離党を決定 ブント同志社細胞結成 (機関誌「小さな旗上げ」発行)	高野澄
1960	1月 岸訪米阻止闘争 全学連、羽田空港にバリケード 1/16 1月 三池労組、無期限全面スト突入 1/25 4月 韓国4月革命 李承晩大統領辞任 5月 安保強行採決 5/19 国会包囲デモ、一部首相官邸突入 5/20 6月 ハガチー来日反対闘争 6/10 6月 全学連国会構内突入、樺美智子死亡(6.15事件) 6月 安保条約自然成立 労・学・市民33万人国会包囲 6/18 7月 全学連、三池争議に350名支援団派遣 8月 山谷ドヤ街で3000人暴動 8/1 8月 安保総括めぐりブント分裂(戦旗派、革通派、プロ通派) 8/9 10月 浅沼社会党委員長、右翼少年に刺殺される 10/12	1月 岸訪米阻止闘争 30名上京 4月 学生会館設立準備委員会設置 6月 安保問題で学生大会開催 6/3 6月 学生大会流会 学友会執行部と体育会系学生衝突(M前) 6/14 井上委員長辞任(代行 高野澄副委員長) 10月～ 同志社社学同、ブント再建活動(京大社学同メンバーと接触) 12月 学友会、学費値上・工学部2部廃止に反対し有終館占拠 12/15	井上弘次 中島鎮夫(書記長) 浅川清(府学連委員長) 上野直蔵(学長) 佐藤浩一(花井正) 村松徹朗 望月躬三

1961	<p>2月 「風流夢譚」事件 右翼が中央公論社長宅を襲撃 2/1</p> <p>2月 社会党、構造改革論を軸とする新方針決定</p> <p>4月 全学連 27回中央委 マル学同、中執を握る(戦旗派併合) 4/5</p> <p>5月 韓国軍事クーデター(朴正熙、翌年大統領代行 63年大統領)</p> <p>5月～ 政暴法粉碎闘争</p> <p>7月 全学連 17回大会 反中執派、大会ボイコット 7/8</p> <p>7月 日本共産党、新綱領採択(反米反独占民主主義革命路線) 7/27</p> <p>8月 釜ヶ崎ドヤ街 2000人暴動 8/1</p> <p>12月 社学同全国事務局機関誌「SECT No.6」創刊</p>	<p>5月 京都府学連、同大内で政暴法粉碎京都決起集会開く 5/30</p> <p>7月 京都府学連、全学連 17回大会へ向け「安保闘争の政治理論としての総括」(政治過程論)提起を準備</p> <p>●関西労働者協会、次いで関西社学同・共産主義者同盟結成 同大府学連BOXを発行所に労働者協会機関誌「烽火」発刊</p>	<p>杉本修一 田中正治(書記長)</p> <p>山本勝也(政治過程論)</p> <p>中島鎮夫(田原芳)</p>
1962	<p>2月 社学同、憲法公聴会阻止闘争</p> <p>4月 全学連、米ソ核実験反対日米英国際学生統一行動 4/27</p> <p>6月 黒田寛一革共同議長、参院選出馬</p> <p>9月 社学同、構改派フロント系、マル学同、憲法中央公聴会阻止闘争 9/28</p> <p>10月 キューバ危機</p> <p>11月 大学管理法反対全国統一行動 東大銀杏並木集会 11/30</p> <p>12月 京大全学閉鎖闘争</p>	<p>●社学同関西地方委員会「戦士」発刊</p> <p>(秋) 「烽火」から「共産主義」と改題(10号から) 大衆運動向け新聞「烽火」発刊</p>	<p>藤野興一</p>
1963	<p>4月 革共同第三次分裂(中核派と革マル派)</p> <p>4月 全国自治会代表者会議 日韓会談反対・全学連再編確認 4/26</p> <p>5月 狭山事件発生 石川青年逮捕</p> <p>5月～ 日韓会談粉碎・ポラリス寄港阻止統一行動</p> <p>8月 原水禁世界大会(第9回) 日共系と社会党・総評系に分裂</p> <p>9月 京都府学連市電市バス値上げ反対デモ 市議会突入 9/30</p> <p>11月 ケネディ米大統領暗殺 11/22</p>	<p>4月 学生会館別館竣工</p> <p>5月 自治会選挙めぐり社学同系と統一派(日共系)の間で乱闘 5/30</p> <p>12月 学長団交の場で学費値上げを一旦撤回する 12/8</p> <p>12月 統一派による学友会襲撃リンチ事件 12/9 学友会委員長・自治委員らを監禁・暴行 16名重軽傷</p>	<p>田所伴樹 岡本清一(学生部長)</p>
1964	<p>2月 東京社学同、マル戦派とML派及び独立社学同に分裂</p> <p>3月 新三派連合確立(社学同・社青同・中核派)</p> <p>4月～ 日韓会談反対・新暴力法案粉碎 各派デモ、集会</p> <p>7月 三派早大構内の革マル派襲撃(7.2事件)</p> <p>8月 京都府学連主催で全学連再建準備全国学生集会 8/3</p> <p>12月 全国自治会代表者会議(全自代)開催 (「関西共産主義者同盟東京都委員会」のピラ出る)</p>	<p>1月 理事会学費値上げ決定 反対の学生、上野学長をカンヅメ 1/25</p> <p>2月 学生会館本館の大学案を臨時評議会で決定</p> <p>4月 学生部長「12.9暴力事件のための覚書」発表 4/28</p> <p>6月 統一派が文自執行部押さえる</p> <p>6月 新暴力法案・日韓会談反対学生統一行動日 学内でスト 6/19</p> <p>11月 全寮協議会と厚生課との団体交渉(水光熱費問題)</p>	<p>蒲池裕治 藤本敏夫(副委員長)</p> <p>田中正治(全自代議長)</p>

1965	<p>2月 慶応大学費闘争 全学無期限スト</p> <p>2月 米軍、北爆開始 2/7</p> <p>3月 関西ブントを中心に統一委員会結成(機関紙「先駆」)</p> <p>5月 全学連、日韓会談反対・ベトナム反戦統一行動 5.21</p> <p>6月 日韓基本条約調印 6/22</p> <p>8月 反戦青年委員会結成(ベトナム戦争反対・日韓条約批准阻止)</p> <p>11月 中国で文化大革命始まる</p>	<p>2月 此春寮解放闘争委員会結成(2/4) 一般寮化を勝ち取る(2/24)</p> <p>5月頃より 学生会館本館の管理運営をめぐり意見対立し紛糾</p> <p>8月 理事会、田辺土地買収の方針を承認 8/14</p> <p>10月 学友会、学生会館問題で全学ストライキ 10/28 (有終館封鎖、各教室入口にバリケード)</p> <p>11月 学長と学友会会見 学生会館についての「確認書」取交す 暫定的開館 11/18~24</p>	<p>蒲池裕治 蒲池裕治(府学連委員長)</p>
1966	<p>1月 早大闘争(学費・学生会館運営権問題) 全学スト突入</p> <p>7月 政府、新空港建設予定地を成田市三里塚に決定</p> <p>9月 第二次ブント再建(マル戦派と統一委員会) 9/1</p> <p>10月 三派系全学連再建準備会結成大会 10/8~9</p> <p>12月 全学連再建大会(三派…社学同・中核派・社青同) 12/17~19</p> <p>12月 中大学生会館自主管理要求闘争</p>	<p>4月 理事会、田辺土地購入決定 4/30</p> <p>6月 全寮協議会 入寮選考実施を決定 6/6</p> <p>7月 ラスク来京阻止闘争</p> <p>9月 大学、近鉄との第1回土地売買契約締結</p>	<p>星名泰(学長)</p> <p>堀清明 松本弘(府学連委員長) 蒲池裕治(全学連副委員長) 藤本敏夫(全学連中央委員) 松本弘 (")</p>
1967	<p>2月 明大学費闘争 2.2 協定めぐり全学共闘会議崩壊</p> <p>5月 砂川基地拡張阻止現地闘争 全学連、機動隊と激突 5/28</p> <p>6月 東京教育大評議会、筑波研究学園都市への移転強行決定</p> <p>10月 佐藤訪ベトナム阻止羽田現地闘争、山崎博昭死亡 10/8</p> <p>11月 第二次羽田闘争 11/12</p>	<p>7月 生協総代会に日共党員乱入占拠(以後理事会を拠点化) 7/5</p> <p>10月 国際反戦デー全学スト 主流派と反主流派激突 10/21</p>	<p>矢谷暢一郎 立崎好道(府学連書記長)</p>
1968	<p>1月 佐世保エンタープライズ寄港阻止闘争 1/15~</p> <p>1月 東大医学部、処分問題で無期限スト突入</p> <p>2月 中央大学費闘争 値上げ白紙撤回</p> <p>3月 三里塚闘争、労学農1万人参加 全学連 機動隊と激突 3/10</p> <p>3月 王子野戦病院反対闘争 学生、基地内突入 3/28</p> <p>4月 マル戦派、ブントから分裂(ブント7回大会) 4/3</p> <p>5月 パリ5月革命</p> <p>5月 日大闘争 3万人大衆団交要求デモ 5/31</p> <p>7月 三派全学連分裂 反中核派勢力は反帝全学連結成へ</p> <p>8月 ソ連軍チェコ侵攻 「プラハの春」圧殺</p> <p>9月 日大全共闘、両国講堂で3万人大衆団交 9/30</p> <p>10月 10.21 国際反戦デー 防衛庁突入 騒乱罪適用</p>	<p>3月 近鉄との残土地売買契約締結</p> <p>4月 田辺校地に関する三者の協定書締結(同志社・田辺町・近鉄)</p> <p>4月 民青系府学連、立命大で集会後デモ 同志社大構内での集会を 図るが学友会系200名学生に阻止される</p> <p>5月 学友会、学生諸団体連名で学生会館の管理運営権・寮問題等 について要求書提出 5/23</p> <p>6月 新町キャンパスで学友会系と民青系学生衝突 6/4</p> <p>6月 学園闘争連絡会議、有終館封鎖 6/19</p> <p>6月 学生大会で「学生会館自主管理」が提案され可決 6/27</p>	<p>杉下雅一 小西桂(書記長)</p> <p>藤本敏夫 (反帝全学連委員長) 奈良平靖彦 (府学連委員長)</p>

1969	<p>1月 東大安田講堂決戦 神田でバリケード戦 1/18</p> <p>2月 日大文学部封鎖解除 機動隊導入 2/18</p> <p>3月 三里塚空港粉碎集会(反対同盟・反戦青年委・全学連) 3/30</p> <p>4月 4.28 沖縄闘争 中核・共産同に破防法</p> <p>5月 立命大全共闘、わだつみの像破壊</p> <p>6月 新宿駅西口広場で反戦フォーク集会 64名逮捕 6/29</p> <p>7月 赤軍派分派闘争(さらぎ議長リンチ事件) 7/6</p> <p>8月 大学運営に関する臨時措置法案 強行採決</p> <p>9月 全国全共闘結成 日比谷に3万人結集 赤軍派登場 9/5</p> <p>9月 京大時計台死守 街頭バリケード戦 9/20</p> <p>10月 安保粉碎・佐藤訪米阻止大統一集会 10/10</p> <p>10月 10.21 国際反戦デー 各所でゲリラ闘争</p> <p>11月 赤軍派、大菩薩峠で武闘訓練中 53名全員逮捕 11/5</p> <p>11月 佐藤訪米阻止闘争 品川・蒲田で機動隊と激突 11/16</p>	<p>1月 大学評議会と全寮協が確約書かわす(水光熱費大学負担) 1/9</p> <p>3月 全学連臨時 20回大会、学館ホールで開催 3/27~28</p> <p>4月 新町で学友会系と民青系学生乱闘 商業高校臨時休校 4/24</p> <p>4月 神学部学生、神学館の無期限バリケードスト突入 4/25</p> <p>5月 学友会、大管法に反対し今出川校地の封鎖を開始 5/21</p> <p>6月 全学闘争委員会、闘争宣言 6/4</p> <p>6月 自治会選挙実施されず</p> <p>7月 望月上史、赤軍分派に絡み中大で転落負傷 7/25 後死亡 9/29</p> <p>9月 京都府警学内立入捜査(最初の機動隊導入) 9/13</p> <p>9月 全学闘、新町校地封鎖 9/19</p> <p>9月 全関西共闘会議決起集会(M前) 烏丸今出川にバリケード 9/22</p> <p>10月 今出川キャンパス・学生会館に機動隊入構 10/2</p> <p>10月 教職員有志による「自由大学」新町校地で開講 10/16</p> <p>12月 大学評議会、機動隊導入し封鎖解除(以後1週間学内駐留) 12/3</p>	<p>志賀茂</p> <p>平林一(商業高校校長)</p> <p>矢谷暢一郎 (府学連委員長)</p> <p>望月上史</p>
1970	<p>3月 赤軍派、「よど号」ハイジャック 北朝鮮へ 3/31~</p> <p>4月 4.28 沖縄デー 各地で10余万人デモ参加</p> <p>6月 反安保六月闘争(全国全共闘・全国反戦・ベ平連等)</p> <p>7月 盧溝橋事件33周年集会 華青闘、新左翼批判 7/7</p> <p>8月 革マル派 海老原俊夫リンチ殺人事件 中核派に報復宣言</p> <p>11月 三島由紀夫、楯の会会員と自衛隊本部乱入 割腹自殺 11/25</p> <p>12月 京浜安保共闘、交番襲撃銃奪取闘争 1名射殺さる 12/18</p> <p>12月 沖縄コザ暴動 騒乱罪適用 12/20</p>	<p>2月 第二次ブントと赤軍派、学館前で衝突 30余名逮捕 2/14</p> <p>入試期間中の構内立入禁止措置、この年から始まる</p> <p>●同大全学闘・京大立命大の全共闘系学生らが6月行動委員会結成</p> <p>6月 学友会再建 学生大会(6/12)で選管結成決議</p> <p>選挙後中央委員会で執行部結成(7/19)</p>	<p>若林盛亮(よど号グループ)</p> <p>山本浩三(学長)</p> <p>村上政夫</p>
1971	<p>2月 赤軍派 重信房子、パレスチナ入り のちの日本赤軍結成</p> <p>4月 4.28 沖縄闘争 八派共闘統一集会以日向派と連合戦旗派衝突</p> <p>6月 全国全共闘、沖縄返還協定阻止集会 全共闘分裂 6/15</p> <p>6月 沖縄返還協定阻止集会 明治公園で鉄バ`イ`爆弾爆発 6/17</p> <p>7月 赤軍派・日共革命左派、統一赤軍(連合赤軍)結成宣言 7/15</p> <p>8月 「赤衛隊」埼玉陸上自衛隊基地で自衛官殺害 8/21</p> <p>9月 三里塚第2次強制代執行 東峰十字路で警官3名死亡 9/16</p> <p>12月 新宿派出所でツリー爆弾爆発 12/24</p>	<p>4月 沖縄闘争支援・学費値上阻止を掲げ学大開催 全学スト突入</p> <p>11月 学友会、学費値上げ問題で大学の全面封鎖に入る</p> <p>12月 理事会、学費改定案を決定 12/3</p>	<p>荒川章</p>

1972	<p>2月 ニクソン米大統領訪中 米中共同声明 2/27</p> <p>2月 連合赤軍、浅間山荘立て籠もり銃撃戦 2/19~28</p> <p>3月 連合赤軍、リンチ事件発覚 3/7</p> <p>4月 米軍、北爆再開 4/6</p> <p>4月 4.28 沖縄デー 中核派集会に反戦自衛官(小西誠)</p> <p>5月 沖縄施政権返還協定粉碎闘争 全国で20万人参加 5/15</p> <p>5月 日本人ゲリラ(岡本公三他2名)、ロッド空港襲撃 5/30</p> <p>9月 日中共同声明調印 日中国交樹立 9/29</p> <p>11月 早大生川口大三郎リンチ殺人事件 革マル派への追及集会</p>	<p>1月 学生大会開催 全学無期限バリスト突入 1/13</p> <p>2月 京都府警機動隊導入 封鎖解除 学生百余名連行さる 2/1</p> <p>7月 理事会、商業高校廃校の方針決定</p> <p>12月 学友会、田辺町現地調査団を派遣</p>	三木信晴
1973	<p>1月 連合赤軍森恒夫、東京拘置所で自殺 1/1</p> <p>7月 日本赤軍丸岡修とバレスチゲリラ、ハリ発日航機ハイジャック 7/20</p> <p>8月 金大中拉致事件</p> <p>9月 神奈川大で反帝学評と革マル派衝突 9/15</p> <p>10月 革マル派、全国の中核派拠点襲撃(この頃より内ゲバ激化)</p>	<p>4月 工学部自治会、毒物たれ流し問題で工学部長に公開質問状</p> <p>5月 工学部長、大衆団交で毒物たれ流しを認め自己批判</p>	松山義則(学長) 野村尚
1974	<p>5月 法政大で中核派と革マル派激突(第1次 5/13 第2次 6/26)</p> <p>5月 狭山裁判糾弾集会 日比谷公園に1万8000名結集 5/23</p> <p>8月 東アジア反日武装戦線「狼」、三菱重工本社爆破 8/30</p> <p>9月 日本赤軍、ハーフ仏大使館占拠 山田義昭釈放 9/13</p> <p>10月 全国学生戦線総決起集会(日本学生戦線) 清水谷公園 10/21</p> <p>10月 狭山裁判で東京高裁二審無期判決 10/31</p> <p>11月 フォード来日阻止闘争</p>	<p>4月 大成寮闘委、寮清掃員労働条件問題で学生部事務室占拠</p> <p>7月 全学闘、今出川校地で現中研(党派)と武装衝突 放逐</p> <p>11月 新町別館竣工</p> <p>11月 評議会、2年連続100%学費値上げを決定 11/27</p> <p>12月 学費値上げ全面白紙撤回を掲げ学生大会開催 12/5</p> <p>12月 サークル共闘会議結成</p> <p>12月 学長団交逃亡抗議集会 街頭デモ西門前で機動隊と衝突 機動隊学内乱入 翌日より全学休講措置 12/13</p> <p>12月 「田辺土地問題について」配布される 大学は田辺土地を教育 研究条件の整備のため利用することを表明</p>	野村尚
1975	<p>3月 中核派 本多延嘉書記長、革マル派の襲撃で死亡 3/14 「全面無期限戦突入宣言」</p> <p>4月 南ベトナム政府陥落 ベトナム戦争終結 4/30</p> <p>7月 北海道警本部爆破 反日武装戦線犯行声明 7/19</p> <p>8月 日本赤軍、ケアルンプール米大使館占拠 坂東国男ら5名釈放 8/4</p> <p>11月 公労協・国労等スト権スト突入 11/26</p>	<p>2月 全学闘政治集会 党派路線を打出す 2/6</p> <p>4月 II部学友会、無期限ストに突入</p> <p>11月 「教育・研究条件の改善について」配布される 田辺土地の 利用目的が工学部及び体育施設であることを表明</p>	時重利通 前田孝弘

1976	<p>2月 三里塚現地総決起集会 2/23</p> <p>3月 北海道庁爆破 反日武装戦線犯行声明 大森勝久逮捕 3/2</p> <p>4月 天安門事件 鄧小平失脚 4/5</p> <p>4月 カンボジアにポルポト政権成立 4/13</p> <p>5月 狭山裁判勝利中央統一集会 5/23</p> <p>9月～ 毛沢東死去 9/9 江青・王洪文ら四人組逮捕 10/12</p>	<p>2月 全学闘、全関西総決起集会(学館ホール) 2/5</p> <p>3月 商業高校廃校</p> <p>6月 全学闘、今出川校地で大成寮入寮情宣に武装介入 敗退</p> <p>12月 全学総決起集会 学術団・新聞局・放送局が闘争委員会結成</p>	前田孝弘
1977	<p>2月 革労協 中原一(笠原正義)、革マル派の襲撃で死亡 2/11</p> <p>4月 三里塚全国総決起集会 2万3千人結集 4/17</p> <p>5月 三里塚強制代執行 抗議集会 5/6</p> <p>千代田農協前抗議集会 機動隊のガス銃で東山薫死亡 5/8</p> <p>芝山町長宅火炎ビン攻撃 5/9</p> <p>8月 狭山裁判無期懲役判決確定 8/10 中央総決起集会 8/23</p> <p>9月 日本赤軍、パリ発日航機ハイジャック 奥平ら6名釈放</p>	<p>2月 評議会「田辺校地整備基本計画」決定</p> <p>5月 学生大会流会 学友会執行部(全学闘)失脚 5/19</p> <p>サークルを主体とした新執行部成立</p> <p>10月 田辺移転阻止・刑法改正粉碎等を掲げ学生大会開催 10/18</p> <p>全学バリケード封鎖 10/19～21 民青との衝突で3名逮捕</p>	古館善幸
1978	<p>2月 三里塚2期工事区域内の要塞・鉄塔を巡る攻防戦 2/6</p> <p>3月 三里塚2万人集会 第四インター、成田管制塔突入 3/26</p> <p>5月 空港開港 中核派、東京航空管制部通信ケーブル切断 5/20</p> <p>6月 ベトナム、カンボジア侵攻</p> <p>7月 三里塚 7.2 飛行阻止総決起集会 5200名参加</p> <p>9月 三里塚「百日闘争」 現地に7200名結集</p> <p>11月 日米安全保障協議委員会、日米防衛協力のためのガイドライン決定 11/27</p>	<p>1月 経済学部二期制導入めぐり紛糾 導入断念(4月)</p> <p>2月 刑法改「正」粉碎全関西学生実行委交流集会(学館ホール) 2/2</p> <p>5月 学大開催(5/15) 翌日から100時間全学バリケード突入(~5/19)</p> <p>9月 同志社国際高校設置計画発表</p> <p>10月 学長、学友会公開質問状への回答で田辺土地の開発申請を来春中に行う旨言明</p>	古館善幸
1979	<p>1月 米中国交回復 米、台湾と断交 1/1</p> <p>1月 カンボジア ポルポト政権崩壊 1/7</p> <p>3月 三里塚「管制塔突入1周年・2期工事阻止集会」 3/25</p> <p>5月 三里塚「開港阻止闘争1周年現地総決起集会」 5/20</p> <p>5月 狭山再審要求総決起集会 5/23</p> <p>10月 韓国 朴大統領暗殺 10/26</p> <p>10月 革労協、検察庁合同庁舎へ火炎放射器攻撃(狭山闘争) 10/30</p> <p>11月 戸村一作 成田空港反対同盟委員長死去 11/2</p> <p>12月 ソ連軍、アフガニスタンへ侵攻 12/27</p>	<p>1月 学友会・学友団、後期試験粉碎ビケ封鎖 1/20～22</p> <p>3月 「同大学生有志」名乗る反全学闘グループ、此春寮を武装襲撃 寮生を監禁・暴行 3/19</p> <p>7月 田辺校地の「開発行為許可申請書」を京都府に提出 7/6</p> <p>9月 学長、広報誌上で「基本計画」の見直しを示唆</p> <p>11月 対学長大衆団交 11/6 翌月 大谷学長辞任 12/15</p>	安藤史彦 大谷實(学長)

1980	<p>3月 三里塚「全国総決起集会」3/30</p> <p>5月 韓国 光州事件 デモ隊一時全市制圧(5/21)</p> <p>7月 「イエスの方舟」事件</p> <p>9月 イラン・イラク戦争勃発 9/9</p> <p>9月 三里塚「空港粉碎現地総決起集会」9/15</p> <p>9月 ポーランド 自主労組「連帯」結成 9/22</p>	<p>4月 同志社国際高校開校</p> <p>4月 評議会、田辺校地の造成工事着手を決定 4/10</p> <p>7月 生協総代会学内開催をめぐり学友会と生協が衝突 7/19</p> <p>8月 学長、田辺校地造成工事着手を教職員・学友会に通知 8/6</p> <p>8月 学友会、造成工事実力阻止を掲げ現地総決起集会開く 8/8</p> <p>11月 臨時評議会、学費値上げを決定 11/28</p> <p>12月 学友会常任2名、民青同盟員と衝突(12/2)後のTI告訴事件</p> <p>12月 学友会常任、会見中の学長をM前に連れ出し大衆団交 12/5</p> <p>12月 臨時部長会・評議会、全学休講(12/15～)決定</p>	<p>高木克典 池側公治(書記長) 松山義則(学長)</p>
1981	<p>1月 中国 四人組裁判で江青らに死刑判決 1/25</p> <p>5月 三里塚「二期工事着工粉碎全国総決起集会」5/24</p> <p>12月 ポーランド 戒厳令施行 「連帯」弾圧 12/13</p>	<p>1月 12/2事件で別館等強制捜査 委員長T・書記長I逮捕 1/13</p> <p>7月 学長、「田辺校地の実施計画の策定にむけて」発表 基本計画に付加し、複数学部移転・1.2年次授業実施等を示唆</p> <p>11月 学長、学友会代表14名と田辺移転問題で会見 11/19</p> <p>12月 学長、「田辺校地整備実施計画方針案」部長会提出を表明 田辺校地で文系1.2年次授業の施設整備を明確化</p> <p>12月 学友会主催討論集会 学長・教務部長・総務部長出席 12/18</p>	<p>斉藤啓一郎</p>
1982	<p>4月 ヨーロッパ諸都市で反核運動</p> <p>11月 ブレジネフ書記長死去 11/10</p>	<p>1月 学友会主催討論集会 学長・教務部長・総務部長出席 1/12</p> <p>3月 「田辺校地整備実施計画方針」評議会で決定 3/18</p>	<p>斉藤啓一郎</p>
1983	<p>2月 成田空港反対同盟分裂 北原派(中核派)と熱田派(第4インター)</p> <p>9月 大韓航空機、サハリン沖でソ連軍機に撃墜される 9/1</p>	<p>6月 中核派、三里塚闘争に絡み学友会襲撃 三共闘1名重傷</p> <p>11月 対学生部長(戸高敏之)討論集会 11/18</p> <p>11～翌1月 学友会は各建物を連続的に封鎖</p>	<p>楠本篤司 木枝燦(学長)</p>
1984	<p>8月 自民党安全保障調査会「国家秘密に係るスパイ行為等の防止に関する法律案」作成発表 8/6 (翌年国会で廃案)</p>	<p>3月 評議会は大学田辺校地整備実施計画を決定 (全学部1.2年次の授業を86年度から田辺校地で開始)</p> <p>4月 文学部入学式で学生が壇上占拠 機動隊導入11名逮捕 4/5</p>	<p>稲谷隆</p>
1985	<p>5月 日本赤軍 岡本公三、捕虜交換によりイスラエルの刑務所から釈放</p> <p>10月 国鉄分割民営化決定</p> <p>11月 中核派、同時多発ゲリラ 国鉄通信ケーブル各地で切断 11/29</p>	<p>1月 田辺校地起工式 学友会「起工式実力阻止現地抗議集会」開催</p> <p>11月 田辺移転阻止・学費55%削減導入反対等を掲げ学大開催 11/8 (部外連の学友団編入決議 最後の学生大会となる)</p>	<p>賀川真</p>
1986	<p>4月 チェルノブイリ原子力発電所で大事故 広範な放射能汚染 4/26</p> <p>10月 レーガン・ゴルバチョフ会談(レイキャビク)10/11</p>	<p>3月 田辺校地開校式 学生50名が反対を称え紛糾 1名逮捕 3/27</p> <p>4月 田辺校地開校</p> <p>12月 対学生部長(小野高治)討論集会 12/9</p>	<p>金築清 原正(学長)</p>

1987	3月 反日武装戦線 大道寺将司・片岡利明、最高裁で死刑確定 5月 朝日新聞阪神支局襲撃される 記者2名死傷 5/3 11月 成田 解放派団結小屋、成田新法適用で強制撤去 11/27 11月 大韓航空機、ビルマ上空で行方不明(翌1月「テロ」と断定)	10月 学友会、二校地問題(カリキュラム等)で教務部長に公開質問状 11月 学友会、質問状回答を不満とし大衆討論集会要求 学生部長の拒否回答に対し部長室・有終館等を連続的に封鎖 12月 对学生部長(畑肇)公開討論会 12/18	室口裕
1988	1月 北海道庁爆破容疑者 大森勝久、札幌高裁で死刑判決 4月 アフガニスタンで和平協定成立(5月ソ連軍撤退開始) 8月 イラン・イラク戦争停戦協定成立	4月 学友会、日朝関係史講座開講(朝鮮文化研究会共催) 11月 学友会、二校地問題で学長に公開質問状 回答後有終館封鎖 12月 土井たか子社会党委員長講演会(法研主催)で大学が警備要請 学友会、警察官導入に対し抗議文提出 学長室等封鎖	室口裕
1989	1月 昭和天皇死去 1/7 6月 天安門事件 人民解放軍、学生の民主化運動を武力弾圧 6/4 11月 ベルリンの壁崩壊 11/9 11月 日本労働組合総連合会(連合)発足 総評解散 11/21 12月 ルーマニア チャウシェスク政権崩壊 12/22	2月 「大喪の礼」 理事長通達により大学は平常授業・業務 学友会「大『非国民』集会」開催 2/24 11月 学友会、工学部統合問題等で学生部長に大衆討論集会要求 学生部長、学長案提示前を理由に出席拒否	高野一義 笹田友三郎(学長)
1990	2月 ソ連最高会議幹部会、大統領制導入(3月ゴルバチョフ選出) 2月～ バルト3国、ソ連からの独立決議 3月 社会党、党規約から「革命」削除 8月 イラク軍、クウェート制圧(湾岸戦争勃発 翌年2月まで) 10月 東西ドイツ統一	5月 学長、「工学部統合計画案」を評議会に提案 (94年総合移転) 5月 学友会、工学部問題で大衆討論集会要求書を学生部長に提出 对学生部長(佐藤幸夫)大衆討論集会実施 5/23 6月 「工学部統合計画」評議会で決定 学友会、有終館等封鎖 6/7 6月 II部学友会、8年振り再建(再建学生大会開催) 6/21 10月 理事長は即位の礼につき、臨時休日とする旨の通知を出す 11月 「即位の礼」当日 「超『非国民』集会」開催 11/12	安藤修
1991	7月 ワルシャワ条約機構解体 8月 ソ連保守派クーデター失敗 ゴルバチョフ大統領辞任(12/25) 11月 三里塚問題で政府と反対派住民がシンポ 運輸相陳謝 11/21 12月 ソ連邦消滅 独立国家共同体(CIS)形成	7月 学友会、工学部統合計画施設用地 R3の土質調査阻止すべく 現地にバリケード 7/23 土質調査再開強行 7/24	辻泰世 小林元彦
1992	4月 ユーゴスラビア、4共和国と新ユーゴ連邦に解体 4/27 6月 PKO 協力法、強行採決 自衛隊カンボジア派遣(9月) 8月 中国・韓国、国交樹立	4月 評議会、「工学部統合事業建設工事実施計画」決定 10月 評議会・臨時理事会、学費値上げ(一括明示漸増方式)決定 11月 对学生部長(今関恒夫)公開討論会 11/18	岩山太次郎(学長) 小林元彦
1993	2月 連合赤軍 永田洋子・坂口弘、最高裁で死刑判決確定 8月 非自民6党連立内閣発足 細川日本新党代表、首相就任 8/9 9月 パレスチナ暫定自治協定調印 9/13	6月 「皇太子御成婚の儀」休日措置に抗議 「超非国民集会 vol 3」 6/9 10月 学友会、田辺別館拡充要求・第2従規館遊休化糾弾等の内容の公開質問状を学長宛に提出	宇野大作

1994	4月 NATO軍、ボスニア紛争でセルビア人勢力を空爆 4/10 6月 自民・社会・さきがけ連立の村山内閣発足 7月 金日成死去 7/8 7月 村山首相、国会で自衛隊合憲の所信を表明 7/20	1月 入試期間中の構内立入禁止措置(ロックアウト)20数年振りに解除 3月 此春寮、在寮者名簿を厚生課に提出 寮費支払いに同意 4月 工学部・工学研究科・理工学研究所、田辺校地へ全面移転 9月 对学生部長(河合宣孝)公開討論会 9/28	宇野大作
1995	3月 地下鉄サリン事件 3/20 オウム真理教施設強制捜査 3/22 5月 オウム真理教代表麻原彰晃、殺人容疑で逮捕 5/16 9月 PLOとイスラエル、パレスチナ自治拡大協定調印 9/28 11月 ラビン イスラエル首相暗殺 11/4 11月 田宮高麿、平壤で死去 11/30	4月 暁夕寮、在寮者名簿提出・寮費を支払う 他寮もこれに続く ベニア・松蔭・一粒(95) 鴨東(96) 大成・北志・壮図(97) 7月 学友会、文学部再編(分断)問題について学長に公開質問状 12月 婦問研(党派) 映画上映に絡み学友会襲撃 委員長重傷 12/4~7 公開中央委員会で婦問研の学友会組織からの除名を決定 12/19	下野俊一
1996	1月 社会党大会 「社会民主党」に党名変更 7月 公安調査庁、公安審査委員会にオウム真理教の解散請求 7/11 8月 韓国 全斗煥元大統領、反乱罪で死刑判決(後 無期に減刑) 9月 民主党結成(新進・社民・さきがけ各党から参加) 9/28	5月 理事会、昼夜開講制(昼間・夜間両コース設置、97年以降2部 学生募集を停止)実施を決定 実質的II部廃部へ 5月 II部学友会 I部学友会と連名で昼夜開講制に関する要求書提出 7月 对学生部長(河合宣孝)全学公開討論会 7/23	下野俊一
1997	7月 香港、中国に復帰 10月 金正日、朝鮮労働党総書記に就任	7月 II部学友会解散 II部サークル連合はI部学友会傘下へ 7月 評議会、セメスター制(4年間8学期に編成)導入決定 9月 学友会、セメスター制・文学部経済学部改組問題等について 学長宛に公開質問状・団交要求書を提出 学長は団交拒否	加藤尚弘
1998	2月 韓国大統領に金大中就任	7月 对学生部長(石川健次郎)全学討論会 7/18 7月 評議会、学費値上げ決定 7/23 学友会、有終館封鎖 9月 田辺別館新館(拡充部分)竣工	八田英二(学長) 鳴岩良浩
1999	9月 茨城の核燃料工場で臨界事故 作業員2名死亡 10月 東ティモール独立	3月 学生健康保険組合、理事会で解散を決定(2000年3月末) 7月 对学生部長(石川健次郎)全学公開討論会 7/14	鳴岩良浩
2000	3月 日本赤軍4名、レバノン政府により強制送還 岡本公三は亡命 11月 重信房子、帰国潜伏中に大阪で逮捕 11/8	7月 对学生部長(石川健次郎)全学公開討論会 7/22 7月 臨時評議会、学費値上げ(10年連続)決定 学友会、質問状提出	和田圭亮
2001	9月 「同時多発テロ」 世界貿易センタービル等にハイジャック機突入 9/11 10月 米英、対アフガニスタン戦争 10/7~ タリバン政権全面降伏(12月)	10月 学生部、学生会館本館・別館の全面改築方針発表	和田圭亮
2002	9月 日朝首脳会談 北朝鮮、日本人拉致を認める 9/17	9月 新町に新学生会館(サークルBOX棟)完成 旧学館別館取壊しへ	浅田雅人
2003	6月 有事法制関連三法成立 3月 米英、対イラク戦争 3/20~ フセイン大統領拘束 12/13	12月 中央委員会において学友会の解散を決議 12/18	小西祐也
2004	2月 陸上自衛隊、イラクへ派遣	4月 学友会解散(4月30日) 残務整理委員会発足(5/1~05.3/31)	